



Seki

せき

2013
8/1
No.1630



特集

市民と行政
進む協働のまちづくり
～地域委員会～……………P2

TOPICS

関駅西口交通広場愛称募集…P6
文化祭の参加と作品募集…P7
議会だより…P8
特別警報の発表…P14

お知らせ…P18
健康情報…P26
文化会館・図書館…P27

市民と行政

「地域委員会」の
取り組みを紹介します

進む協働のまちづくり

「市民協働」は、現在のまちづくりで欠くことができない理念です。市民と行政が力を合わせ、協力して、住みよいまちを創ることが大切です。市では、このような考えに基づき「協働のまちづくり」を推進しています。

その中で、地域が抱える課題を解決する住民主体の組織「地域委員会」の設立に取り組んでいく各地域について紹介します。



【照会先】 市民協働課 ☎23-7711



地域委員会

◆地域委員会とは

住民が主体となる地域づくり組織のことです。地域の課題を解決し、地域をよりよくすることを目的とします。また、地域の絆やつながりを育み、共助の地域をつくる母体となります。

▽活動範囲 旧武儀郡は旧自治体ごと、旧関市は概ね小学校区ごとを活動の範囲とします。

▽組織 地域内の主要な団体が概ね所属します。また、その活動には誰でも参加できます。

▽活動内容 地域課題の把握や地域資源を再発見しながら、地域の実情に応じた地域づくり活動



をします。その活動内容は、地域の皆さんが決定し、地域の皆さんが行います。

◆市役所の支援

2つのサポートをします。

▽交付金 地域課題の把握や地域づくりの活動に対して市から交付金をお渡しします。その使い道は、地域の皆さんで決定します。

▽市職員の派遣 地域委員会の活動をサポートする職員（地域支援職員）を各地域委員会に4人派遣します。アンケートの集計や活動計画の作成などさまざまなお手伝いをします。

◆地域委員会の設立まで

①地域委員会準備会

地域の方と市職員で構成

②地域課題の把握

住民アンケート、地域で活動する団体の話を聞く

③ワークショップ

地域の皆さんで地域課題の解決方法を考える

④地域振興計画の策定

地域委員会の行動計画を策定

⑤地域づくり活動の開始

地域委員会を設立し活動を開始

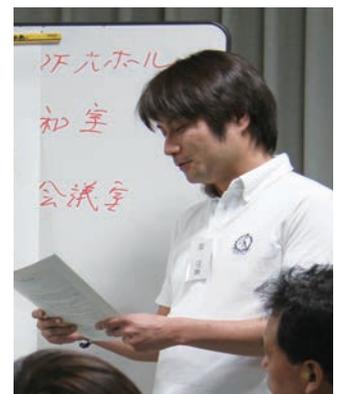


◆これまでの各地域の取り組み

現在、田原、武儀および上之保地域において、地域委員会モデル事業に取り組んでいます。

田原、武儀地域では、平成24年度から地域の課題を見つけ、地域委員会の行動計画を策定。平成25年度中に地域委員会を設立し、地域づくりの取り組みを開始する予定です。

また、上之保地域では、平成24年度から地域委員会による地域づくり活動を開始しています。



▽田原、武儀：地域振興計画の策定や組織づくり

※住民アンケートの実施、地域で活動される団体のヒアリング、住民ワークショップ、地域振興計画の検討、組織の見直しなど

▽上之保：地域委員会の活動開始
※お年寄りのたまり場づくり、三十三観音看板設置・マップ作成、イメージキャラクター「ゆずりん」、婚活事業「カミコン」、映画講演会の開催など

※田原地区では、田原ふれあいセンター指定管理団体の「田原ふれあいのまちづくり推進委員会」、武儀地域では「NPO法人日本平成村」、上之保地域では、上之保生涯学習センター指定管理団体の「上之保ふれあいのまちづくり委員会」が中心となり、事業に取り組んでいます。

地域委員会モデル事業・住民ワークショップ

現在、田原武儀地域で住民ワークショップが開かれています。各種団体の代表、自治会、公募による参加者、市職員などが集い、地域の夢や未来をワイワイと語っています。このワークショップで生まれたアイデアを行動計画(地域振興計画)にまとめ、地域委員会の主要事業にします。

ここで、参加者の声を紹介します。



鈴木克彦さん
田原小学校PTA会長・
40歳・東田原

「この地域に住むようになって15年になります。田原地区は年配者の活動が活発で、若い世代の活動が少ないと感じています。私は、尾関健治市長と同世代とあつて、自分たちでもやることはやらないといけないという使命感が出てきました。」

参加してみると、地域の方の顔も覚えられて、得るものが多いですね。ワークショップでは『安全・安心な田原を地域みんなでつくる』というテーマで話し合いましたが、子どもの見守りボランティアや交通安全ボランティアがしっかりしている、水害は比較的少ないなどのプラス面、街灯が少ない、

消防団員の確保が困難、有害鳥獣対策に不安があるなどのマイナス面がわかってきて、とても有意義な話ができました。

田原地区は、よい意味で田舎ならではのコミュニケーションがあり、仲間意識が強いと思います。今後も先輩方の知恵を継承しつつ、若い世代のアイデアも出して、地域が発展していければいいですね。

住みよく、これからも田原に住んでよかつたと思えるような地域を目指したいです。」



【田原みらい会議】

田原ふれあいセンターを拠点に、7チーム編成、約60人が参加しています。7月までに3回の会議を終え、地域の魅力や課題の再発見、地域づくりのアイデアについて話し合いました。



久保祐一さん
桜台連合自治会長・
58歳・桜台3

「会議発足の際には参加していませんでしたが、声をかけていただき(今年の)5月から加わりました。」

現在、桜台の4自治会530世帯の会長を務めています。自治会の役員はどうしても輪番制が多く、新しいことに挑戦することが難しかったかもしれません。この地域委員会発足に向けての取り組みは、地域のために大変良いことを始めるきっかけだと思います。

私は神戸市から移り住んで25年。田原地区で暮らす住民として、何かやらなくてはという思いが強いです。この地域は、昔から住んでいる人と団地で暮らす人とのつながりが薄かつ



た気がしますが、だんだんと一つの活動を一緒にできるようになりましたね。この会議も新旧がひとつになれるよい機会です。将来に向けても助け合っていけたらいいと思います。

田原地区は元気なお年寄りからしっかりと挨拶できる子どもまで、他地域からも褒められるほどいいまちです。地域の高齢化は考えなければならぬ問題ですが、ひとつの目標に向かって取り組んでいくことは、本来の自治会や地域の姿だと思いますね。

個人が行うボランティア活動をみんなで行えば、もっと大きな力になると思います。みんなで地域を作りたいです。」

【武儀ふるさとづくり「わいわい会議」】

武儀生涯学習センターを拠点に、8チーム編成、約70人が参加しています。6月までに4回の会議を終え、取り組み課題の決定、具体的な事業計画づくりなどについて話し合い、7月23日には市民発表会が開かれました。



打田純子さん
2児の母・40歳・下之保

「武儀地域をいかに暮らしやすくするかを話し合う場があると、義妹に誘われて会議に参加しました。

私は武儀地域に住むようになって11年目。子育てサロンがあったおかげで、知り合いがいなかった私が、友達や相談に乗ってくれる人も増えてあげがたかったです。武儀はいい人が多いですよ。自然も豊かですね。

会議では、子育て支援術のグループに入り、次世代を担うリーダー応援事業などについて話し合いました。

この地域で育つ子は、何といつても数が少ないですから、子ども同士思いやりはあるのですが、控え目で闘争心が弱く、リーダーが育ちにくい環境かもしれません。

こうした『井の中の蛙脱却』を図るため、武儀地域以外でのさまざまな交流を学校の部活動を通して行うことができればいいですね。

現在、小学5・3年生の子どもがいます。全校児童が少ないところで育っていますから、高校生、社会人になって驚かないように、人との交流を着実に積み上げていってほしいです。

最近の若者は、仕事をすぐに辞めてしまったり、挨拶もしないで仕事さやっています。挨拶もしないで仕事さやっていますが、そんな大人にはなってほしくないですね。

武儀地域のアットホームな雰囲気は残しつつ、『交流』が絶えない地域になるよう、取り組んでいきたいです。」



各務美香さん
2児の母・30歳・下之保

「私は上之保出身で、武儀に住み始めて4年。子育てサロン利用者の若いお母さんたちと一緒に、このわいわい会議のメンバーになりました。サロンを利用しての間に、同じ場所での会議ができるのが嬉しいですね。

会議では、子どもを育てる上でどうしたらよいか、もつと若い世代を増やすには、田舎暮らしの良さをもつとわかつてもらえたらというような話をしています。

武儀地域は、近所づきあいが豊富で、野菜をいただいたり、困ったことがあればすぐに助けてくれますし、自然もいっぱいどこでも子どもが遊べます。せっかくだから、今あるものを

活用し、田舎ならではの特徴ある子育てを楽しみたいですね。

そのために、おばあさん世代から料理を教わったり、伝統的な年中行事などに参加して、いろいろな体験したいです。自然にふれながら、多世代の交流を深めることができれば嬉しいです。

3歳と1歳の自分の子には、どんな状況でも、ひとつでも何か楽しむことができる子どもに育ってほしいです。そして将来、子どもたちがこの地域に住み続けたいと思ってくれるようになったらいいですね。

それには、この地域の良さをもっと伝え、環境を残してあげたいと思います。よその地域の方から『武儀地域はいい子が育つんだってね』なんて言われるよう、できる限りのことを頑張りたいです。」



小学校区ごとの設立を目指します

該当地域にお住まいの方なら誰でも参加することができます。参加することで、地域の暮らしがきつと楽しくなるはずですよ。

今後、市内の各地域(概ね小学校区ごと)で地域委員会設立に向けて準備を進めます。ぜひ、皆さんで話し合い、取り組みを始めましょう。

長良川鉄道関駅西口交通広場 愛称募集!

◆照会先 市民協働課 ☎23-6831

関市の新たな公共交通の拠点として長良川鉄道関駅西口が生まれ変わります。この整備に合わせて交通広場の愛称を募集します。未永く愛される名前をお寄せください。

- 募集期間 **8月1日(木)~31日(土)** ※郵送の場合は、消印有効
- 募集方法 **①はがき ②ファクス ③メール**
※必要事項を記入の上ご応募ください。
- 記入事項 ▷関駅西口交通広場の愛称 ▷愛称を付けた理由 ▷応募者氏名
▷郵便番号および住所 ▷電話番号 ▷年齢
- 応募先 〒501-3894 関市若草通3丁目1番地 関市役所市民協働課・愛称募集係
▷ファクスの場合 FAX23-7744 ▷メールの場合 shiminkyodo@city.seki.lg.jp
- 賞 ▷優秀賞1点=3万円 ▷佳作2点=各1万円
※各賞について、同じ愛称が複数の場合は抽選により決定します。
- 応募愛称の取り扱い
▷採用された愛称について、すべての権利は関市に帰属するものとします。
▷応募する愛称は、広場の名称としてオリジナルのものに限ります。
▷応募にあたっては、第三者の権利を侵害しないように十分に配慮してください。



第58回

関市文化祭の参加と 作品の募集

- 山野草展 10月5日(土)・6日(日)
- 諸流いけばな展 10月6日(日)
- 盆栽展1部 10月26日(土)・27日(日)
- 創立45周年記念獅子舞大会 10月27日(日)
- 菊花展 11月3日(日・祝) 5・13日(水)
- 市民茶会 11月3日(日・祝)
- 邦楽大会 11月3日(日・祝)
- 盆栽展2部 11月9日(土)・10日(日)
- 文芸大会 11月10日(日)
- 洋楽祭 11月17日(日)
- ◆場所 関市文化会館

文芸大会作品募集

一般の部

- ▼短歌 自由詠1人1首(選者)近松壮一、伊藤かえこ
- ▼俳句 秋季雑詠1人3句1組(特別選者) 榎未知子 選者||清水青風、亀山幸助、船戸成良
- ▼川柳 秋季雑詠1人2句(選者)鵜飼道楽 平林土佐子
- ▼俚謡 秋季雑詠1人3章1組(選者)明廻家松花、加納勇山、安田光江

応募方法

○山野草・盆栽・菊花展に出展、邦楽・洋楽祭に出演を希望される方は、8月21日(水)までに文化課へご連絡ください。
○文芸大会(短歌・俳句・川柳・俚謡・狂俳)は、部門ごとにはがき1枚を使用し、はがきの表に住所・氏名・電話番号を記入、裏面には作品の頭に部門を朱書き。現代詩は原稿用紙を使用。9月20日(金)までに〒500113232 関市桜本町2丁目30番地1 文化課「文芸大会」係へ。当日必着。

小中・高校生の部

- ▼狂俳 「露」「熱い」「神域」「あか」「抜群」1題1句 5句1組限り(選者)河村花玉、佐藤香雪、加藤晴月、石原志泉、松田照右
- ▼現代詩 題材自由1人2編以内(選者)中原眞理夫
- ▼短歌 自由詠1人1首(選者)鷺見吉直
- ▼川柳 題材自由1人2句(選者)鵜飼道楽 平林土佐子
- ▼現代詩 題材自由1人2編以内(選者)伊佐地哲男

照会先 文化課 (☎ 24-6455 FAX 24-6950)

第63回

関市美術展作品募集

◆出品部門と規格

- 日本画 6号(40・9cm×31・8cm)以上1100号(162・1cm×130・3cm)以下、軸装可、ガラス不可、屏風・つい立て不可
- 洋画 8号(45・5cm×37・9cm)以上1100号(162・1cm×130・3cm)以下、油彩はガラス・アクリル不可、版画に限り4号(33・4cm×24・3cm)可
- 彫刻・彫塑 170cm×70cm以下、幅70cm以下、重量200kg以下
- 工芸 展示できるように、頑丈な止め金、ひもなどをつけること
- 写真 4ツ切(25・4cm×30・5cm)以上全倍(60・3cm×90・3cm)まで、組み写真可、ガラス不可
- 書道 全紙(135cm×70cm)・8尺×2尺(242cm×61cm)・半切(135cm×35cm)は縦に限る、ガラス不可、半切以下は軸装可、屏風・つい立て不可
- デザイン 題材自由、B全サイズ以内、パネル・ボード仕立
- 華道 制限なし

◆応募資格

15歳以上(中学生を除く)

◆出品点数

各部門1人1点、ただし共同作品可

◆出品料・審査

なし

◆申し込み

10月2日(水)〜4日(金) 午前9時〜午後5時に文化課(関市文化会館内)へ

◆搬入

10月17日(木) 午前9時〜午後7時に関市文化会館各会場へ

◆飾り付け

10月18日(金) 午後7時から

◆開場式

10月23日(水) 午前9時40分から小ホール前

◆展示期間

関市文化会館で10月19日(土)〜27日(日) ※華道のみ23日(水)から

◆搬出

10月27日(日) 午後4時〜5時

